(No.26) 平成24年(2012) 4月1日



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

# 大森 海苔のふるさと館 ニュース26号



# 平成24年度の催し物

今年度も、人気の催し物を充実させ、夏休みには小学生向けの体験教室を予定しています。海苔に関するものや親子で楽しめるものなどさまざまな催し物があります。 皆様のご参加をお待ちしております。

開催日		3	/5 <del>1</del> -1 # <i>h</i> m	区報掲載日		古生士:+
月	П	曜	催し物	日にち	曜	募集方法
4	1	日	海苔つけ体験	3月11日	日	Tu先着
	15	日	海苔つけ体験			JJ .
	28	土	海苔の街再発見 映像上映会①	- 4月21日	土	当日先着
5	3	祝	海苔の街再発見 映像上映会②			"
	6	日	海苔の街再発見 映像上映会③			"
	20	日	海苔網で袋づくり			Tu.先着
6	17	日	海苔網で袋づくり	5月21日	月	"
7	22	日	ヨシでコースターづくり	7月11日	水	IJ
	29	日	浜辺の生き物探検隊			IJ
8	4	土	タペストリーをつくろう			IJ
	5	日	自由研究で海苔を調べよう			"
	18	土	ペーパークラフトで海苔とり舟をつくろう			"
	19	日	貝細工づくり			"
	26	日	浜辺の生き物探検隊			JJ .
9	16	日	海苔簀づくり	8月21日	火	"
10	21	日	海苔簀づくり	9月21日	金	JJ.
11	18	日	海苔のまち歩き①(お話編)※	10月21日	日	JJ.
	23	祝	海苔つけ体験	11月11日	日	"
12	2	日	海苔のまち歩き②(まち歩き編)※	10月21日	日	JJ.
	9	日	海苔つけ体験	11月21日	水	"
	22	土	海苔つけ体験			"
1	13	日	海苔つけ体験	- 12月21日	金	ıı —
	26	土	海苔つけ体験			JJ.
2	10	日	海苔つけ体験	1月11日	金	JJ.
	23	土	海苔つけ体験			"
3	10	日	海苔つけ体験	- 2月21日	木	"
	17	日	海苔つけ体験			"

※①と②の「海苔のまち歩き」は、連続講座です。

催し物の詳細は、区報およびホームページでお知らせしています。

申込み:区報掲載日の午前9時より電話にて申込受付。土日祝日も受付けています。

問合せ先:大森海苔のふるさと館 電話:03-5471-0333



(No.26) 平成24年(2012) 4月1日



### (毎月の催しもの

毎月の催し物の中から、今年度新しく実施するものや注目の催し物などをご紹介します。

#### ■海苔つけ体験(10:00~12:00)

海苔つけ体験は、生 海苔を四角い枠に流し 込み、乾し海苔をつく る体験です。自分の海 苔は、後日お渡ししま すので食べる楽しみも



あります。(今年から、当日に海苔が乾いた場合、 15:00から海苔はがしを行いますので、その日のう ちに持ち帰ることもできます。)

#### ■映像上映会(13:30~15:00)

「海苔の街再発見」と題して、映像を上映します。

- ①4月28日(土)海苔づくりを支えた技術
- ②5月3日(祝)現在の海苔づくりを知る
- ③5月6日(日)海苔の街大田区の魅力再発見

#### ■海苔網で袋づくり(10:00~15:00)

海苔を育てるための海苔網を編む技術を応用して、 巾着袋のような網目状の袋を編みます。

#### ■夏休み体験学習会

今年は、夏休みの子供向けのイベントが更に充実 します。工作や自由研究などにご活用ください。

- \*ヨシでコースターづくり 海苔簀編みを応用しヨシでコースターを作ります。
- \*タペストリーをつくろう

#### 海苔網の編み方を習って、その網に貝殻やビーズ、 リボンなどを飾ってタペストリーを作ります。

#### \*自由研究で海苔を調べよう

夏休みの自由研究、海苔づくりや海苔の秘密をみ んなで一緒に調べましょう。目指せ海苔博士!

\*ペーパークラフトで海苔とり舟をつくろう

海苔をとるためのベカブネ (テンマ) という舟を、本物そっくりのペーパークラフトでつくります。

#### \*貝細工づくり

きれいな貝でかわいい飾りをつ くります。

(下記の貝細工展の関連事業)

#### \*浜辺の生き物探検隊

浜辺の魚や貝を観察して、海と私たちの関係を学びます。東京海洋大学の学生さんが教えてくれます。

#### ■海苔簀(のりす)づくり(13:00~16:00)

ヨシを使って海苔つけの際に欠かせない海苔簀を作ります。海苔つけ体験の時に自分で作った海苔簀を持ってくれば、昔と同じ海苔つけ体験ができます。

#### ■海苔のまち歩き(13:00~16:00、全二回)

海苔の痕跡を訪ね、大森の街を歩きます。一回目は、事前に古い写真や地図を見ながら街について学びます。二回目は、実際に街を歩きます。

#### ■(仮)懐かしの貝細工展

大田区立郷土博物館の秋の特別展「(仮) 貝細工展」 のプレ展示として、かつて海辺の行楽地のお土産物 として親しまれた貝細工の展示を行います。

期間:7月18日(水)~10月14日(日)



## ミニ・イベント

ミニイベントは、家族連れでお気軽にご参加いただけます。原則、事前のお申込みは不要です。

#### ■絵本の読み聞かせ&公園散歩

季節に合わせた絵本の読み聞かせを します。その後は、公園でお花や生き 物を探しましょう。

日にち:毎月第4火曜日(5月は29日、12月は18日)時間:11:00~11:30

#### ■ひまわり・プロジェト

皆で協力して館の周りにきれいなひまわりを咲かせましょう。ひまわりが成長する様子を見に来てね。耕しの巻:4月14日(土)

種まきの巻:4月29日(日)、5月4日(祝) 水やりの巻:種まきから7月までの毎日

(12:00~15:00を除く時間)

種とりの巻:9月23日(日)

※水やり以外は、いずれも13:30~14:30

·······

#### ■季節飾りと工作遊び

季節の行事や節句に合わせて、季 節の飾りつけと工作遊びをします。 カブトづくり:

4月30日(祝)、5月5日(土) 七夕飾りづくり:

7月7日 (土)

貝でおひなさまづくり:

2月16日 (十)

※いずれも、13:30~ 15:30

節句人形の展示も行います。

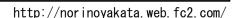
### ■お月見コンサート

9月30日(日) 17:30~19:00 (事前申し込み) 特定非営利活動法人 海苔の ふるさと会会報「大森海苔の ふるさと館 ニュース」26号

平成24年4月1日発行 編集・発行 特定非営利活動法 人 海苔のふるさと会 連絡先 東京都大田区

平和の森公園2番2号 TEL 03-5471-0333

FAX 03-5471-0347



(No.27) 平成24年(2012)6月1日



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

# 大森 海苔のふるさと館 ニュース 27号

# 海苔生産道具の新寄贈資料の紹介

海苔生産の道具の寄贈を呼び掛けたところ、多くの方々からご連絡を戴き、新たな資料を寄贈いただきました。今回お預かりした資料の中から主なものをご紹介します。

初めに、大森東の茨田勝美氏から寄贈いただいた 道具をご紹介します。茨田氏宅は、明治37年生まれ の父親が分家して旧呑川沿いに居を構え、勝美氏の 兄と親子二代で海苔生産に携わっていました。

分家した当時は周辺は3軒ほどしかなく、戦後、 勝美氏の幼少の記憶でもまだ海苔生産の家が点々と あるだけでした。周りは畑が広がり、自家消費用の 南京豆やとうもろこしなどを作っていました。

現在、海苔乾し場は駐車場へ変わり、低湿地の面



影を残していた池も住宅が立ち並んでいます。

当時の母屋と海苔の乾燥小屋がそのまま残っていて、海苔の道具は乾燥小屋の中に保管されていました。伺った時はおおかた片付いた状態でしたが、海苔の道具が入った平箱や茶箱が積み重なり、梁にはロやカイが並び、まるでタイムカプセルのようです。

そして、小屋の片隅にはテンマ(ベカブネ)の姿がありました。かつては大森だけで数百艘もあったテンマですが、漁業権放棄から50年の歳月が経ち、姿を消したと思われていました。小屋の暗がりの中に、どっしりと黒光りする姿が浮かび上がって見えました。



ふるさと館へ運び、水で 洗い流すと美しい木目が現 れました。元船大工(東造 船)の小島延喜氏と共に館 に保管しているシキ(船底) の型板を当てると、ぴった



↑テンマは台車に乗せ、浜辺を通って運びました。

りです。小島氏は「東造船でこしらえたテンマだ」

と、50年振りの再会を喜び、 嬉しそうになでていました。

他には、最後の海苔生産の「昭和三十八年」と墨で書かれた海苔簀の束がありました。また、昭和37年に奈良輪漁業協同組合の漁場の種つけ(海苔の胞子を付ける)許可証、ボータ、綿入れ、股引などの



作業着やモーター付きの海苔切り機など多数の道具を寄贈いただきました。

次に、大森東の田中氏の道具をご紹介します。先

代まで海苔生産を営んでおり、小屋の中に多数の道具が保管されていました。

戦前の竹ヒビの時代 に使われていた海苔下 駄、海苔船の進水式の 旗、水ダル、海苔簀編 み台、網針、半切桶、 海苔乾し枠などを寄贈 いただきました。

(まこ)



 $(N_{0.27})$ 平成24年(2012)6月1日

次に、大森東の伊藤氏から寄贈いただいた道具を紹 介します。

刺し子のボータ

大正3年生まれのお母さんが自分で縫い、海苔と りのときに着ていたものだそうです。右肩にはボタ ンが付いており、ゴムの水よけをかけて使いました。 前身ごろの上にある黒いしみは竹ヒビの油がついた 跡だということです。ボータは生地が厚いために暖 かく、竹ヒビの枝もささらなかったそうです。この ようなお話を聞くと、このボータを着て海苔とりを している様子が目に浮かび、感慨深いものがありま す。



お母さんが自分の実家から譲り受けて使っていた もので、生前、「私が亡くなるまで捨てないでくれ」 と仰っていたそうです。とても大事にしていたこと がわかります。

(小山)



### 寄贈資料一覧

平成24年2月から5月までに、下記の資料を寄贈い ただきました。ありがとうございます。

①海苔下駄、乾枠、水ダル、半切桶、簀編み台、

押切り、網針、進水式の旗など 計28点 ②ボータ、櫓 計2点

③道具箱、餅きりまな板など 計7点

④ボータ 計2点

⑤「大森海苔漁業資材保存会」作成

『保存資材解説』ほか 計2点

⑥鍬、木槌

計2点 ⑦櫓、焼印、半切桶 計3点

⑧テンマ、海苔切り機、羅針盤、海苔種場抜取証、 手縄、カンテラ、ランプ、滑車、焼印、焼版札、 マキハダ、手形、せ落とし、穴あけ鍔のみ、 ボータ、綿入れ、綿入れ袖なし、被布袢纏、 平箱、茶箱、飛行機包丁、海苔切り包丁

> 計63点 計3点

#### ⑨櫓、櫂、海苔切りまな板

お預かりした資料は、当館で展示、活用、また貴 重な文化財として保管させていただきます。また、 新収蔵資料は、永く保存するために虫害予防として 5月末にくん蒸を行いました。

大田区では、引き続き海苔生産 の道具や資料、写真などを探し ています。お持ちの方は、ぜひ 当館までご連絡ください。

TEL 03-5471-033

戦後の海苔養殖は、竹ヒビから海苔網へと変わり、生産量も飛 海苔網躍的に向上しました。海苔網づくりの技術には、海での作業の 知恵が詰め込まれています。

この編み方を、日々の生活に活かしてみませんか。

海苔網は、海苔を育てるための仕掛けです。

かつては、目板と網針(あばり)という道具を使い、シュロ縄やパームヤシ などの材料で編みました。夏や雨の日など、時間があればいつでも作業をした

そうです。シュロ縄はケバが固く、編む時は手が痛くて苦労し たとのことです。

当館では、海苔網を編む技術を学び、暮らしに活かす催し物 を行っています。今回はペットボトルホルダーを作ります。他 にも、ボール入れや緑のカーテンの網など、あなたのアイディ ア次第でさまざまな作品を作ってみませんか?

#### ■海苔網で袋づくり■

日時:6月17日(日)10:00~15:00

対象:中学生以上/定員:先着20名/参加費:無料/持ち物:昼食

電話にて申込受付中。



↑目板と網針(あばり)

#### 特定非営利活動法人 海苔の ふるさと会会報 「大森海苔の ふるさと館 ニュース」27号

平成24年6月1日発行

編集•発行 特定非営利活動法 人 海苔のふるさと会

連絡先 東京都大田区平和の 森公園2番2号

TEL 03-5471-0333 FAX 03-5471-0347 (No.28) 平成24年(2012)8月1日



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

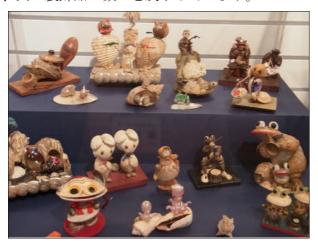
# 大森 海苔のふるさと館ニュース 28号

おいでください。

# 企画展 英辺の想の出 懐かじの見細工

### 開催期間:平成24年7月18日 (水) ~10月14日 (日)

海苔のふるさと館2階の企画展示コーナーで、 懐かしい「貝細工」の展示が始まりました。海にち なむ夏企画として、貝を材料とした観光土産の置物 や、貝の装飾品の数々を展示しています。



貝細工と聞いて東京近郊の人が初めに思いつくの は江の島土産だと思います。江戸時代の江の島詣で

の頃から貝細工は知られ、 明治大正の頃は、羽田穴 守稲荷の参詣土産にも売 られていました。今では 江の島以外では殆ど終 消しては、海辺の観光 や海水浴場のどこにで動 も 物や人形が売られていま した。



今回は、金子皓彦氏(元 東京女学館大学教授)のコレクションより紹介します。また、併せて、中国ほか海外の貝細工土産もあわせて紹介いたします。なお本展は、大田区立郷土博物館特別展「懐かしうつくし 貝細工」(会期10月7日~11月25日)のプレ展示でもあります。こちらも、お誘い合わせの上、

(大田区立郷土博物館 学芸員 藤塚悦司)



### 関連イベント「貝細工づくり」

日時:8月19日(日)13:00~15:00

内容:東京湾で集めた貝がらで工作をします。

対象:小学3年生以上 ※既に定員に達しており

ます。



### 特别展

### 開催期間:平成24年10月7日(日)~11月25日(日)

大森貝塚にちなむ貝の加工品、螺鈿細工や青貝細工などの工芸品や、江戸の人々を 驚かせた貝細工の見世物小屋の記録など、様々な貝細工の世界を紹介します。ふるさ と館の展示同様、金子コレクションの協力を得て開催される予

定です。

うつくし

りつくし

会場:大田区立郷土博物館

住所: 大田区南馬込5-11-13 Tm03-3777-1070 交通: \*都営地下鉄浅草線 南馬込駅下車徒歩7分

\*JR大森駅下車山王口から「荏原町駅入口」行き

 (No.28) 平成24年(2012)8月1日



大森ふるさとの浜辺公 園へ行ったことはありま すか?

この時期に砂浜の波打 ち際を歩くと、稚魚の群 れがたくさん。この浜辺

ではボラとハゼが多く見られます。そして、稚魚の 泳ぐ波打ち際から目を離し、沖の方を見てみると、 水面からジャンプしている魚がいます。この魚は、 大人になった「ボラ」。ボラは出世魚と言い、成長 段階で名前の変わる魚の一種です。関東では、オボ コ→イナッコ→スバシリ→イナ→ボラ→トドと呼び 名が変わります。



砂浜の両側にある磯場です。磯場で見られる代表 的なものと言えばカニですが、カニはかくれんぼの 達人。頑張って探さないとなかなか見つけられませ ん。また、磯場ではなく砂地に棲むカニもいます。 ふるさとの浜辺公園では、ケフサイソガニ、マメコ ブシガニ、ヒライソガニなどのカニが見られます。

夏休みの催し物「浜辺の生き物探検隊」の事前調査として、6~7月に東京海洋大学の学生と浜辺で生き物の採集を行いました。そこでは、ボラ、マハゼ、ビリンゴ、スズキ、キチヌ、イシガレイ、スズエビモドキ、アサリ、ヤマトシジミ、シオフキなどが確認されました。



海苔のふるさと館では、名板作成実行員会よりご 寄付いただいた教材費で、新たに水槽を購入しまし た。ろ過水槽を備えたオーバーフロー水槽で、ろ過 能力が高く、水質が安定しやすいことから、生物の 環境には適しています。この水槽では、ふるさとの 浜辺に生息する生き物を飼育しています。今はまだ 広々としている水槽ですが、今後、少しずつ生き物 の種類も増やして行く予定です。

身近な公園で豊かな生き物の命が育まれていることを、実感しに来てください。(りょう)



お月見 コンサート 9月30日 日時:9月30日(日)

17:30~19:00 (開場17:00) プログラム (予定) : 「大森甚句」 (全国大会受賞者) 、物語の朗読 と雅楽楽器やチェロのセッション、

ハワイアンバンド

申込:9月1日(土)9:00~ 電話にて先着30名

### ふらはまにくら夏の渡り鳥 コアジサシ

コアジサシは、繁殖のために夏に渡り鳥として日本に飛来する鳥です。 大森ふるさとの浜辺公園にも毎年飛来し、水にダイビングして魚を捕まえるシャープで美しい姿を目にすることができます。

森ケ崎水再生センターで保全活動を行っているNPO法人リトルターンプロジェクトの協力で、コアジサシの生態や保全活動を紹介しています。

会場:3階展望コーナー

協力:NPO法人リトルターンプロジェクト

http://www.littletern.net/



#### 特定非営利活動法人 海苔の ふるさと会会報「大森海苔の ふるさと館 ニュース」28号

平成24年8月1日発行 編集・発行 特定非営利活動法 人 海苔のふるさと会 連絡先 東京都大田区平和の 森公園2番2号 TEL 03-5471-0333

FAX 03-5471-0347

 $(N_0.29)$ 平成24年(2012)10月1日



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

# 大森 海苔のふるさと館 ニュース 29号

# 女性が語る海苔漁家のくらし

当館では、一年を通して多くの元海苔生産者の方々が活躍し、貴重なお話をお伺いしています。では、 海苔の家に嫁いだ女性たちの暮らしや苦労はどんなものだったのでしょうか。

そこで、サポーター「はまどの会」の研修を兼ねて、 女性から見た海苔漁家の暮らしを聞いてみました。

お話をしてくださったのは、大田区大森東2丁目 | \*\*\*海苔の時代\*\*\* にお住まいの伊藤きぬさん(81歳)です。

きぬさんは昭和6年に大森東の父親の代で始めた 海苔漁家に生まれました。

学校を出たあくる年に同じ大森東の江戸時代より 代々続く海苔漁家の一人息子のところへお嫁入りし ました。昭和38年に海苔が終わるまでの苦労話と、 その後、詩吟とめぐり会い、はばたき、今に至るお 話を伺いました。

#### \*\*\*習い事\*\*\*

娘時代は戦争中で特殊鋼に学徒動員で働いたこと もあり、おけいこ事などできなかった。学校を出て すぐに嫁にきたので、伊藤家で裁縫を習わせてくれ た。裁縫は産着、肌襦袢、なんでも2枚ずつお稽古 して、家族みんなの着物を縫うようになった。時代 が変わり機械編みがはやりだすと、高価な編み機も 買ってくれて家族のセーターやおじいさんの毛糸の ズボン下など編み喜ばれた。

当時はお祝に毛糸の束や反物をいただき、なんで も手作りした。娘は高校生頃まで母親の手作りの服 を喜んで着てくれたが、息子たちは大きくなるとい やがった。



昭和10年ころの伊藤家の海苔はがし

両親、夫、子供3人、 それに海苔の季節にな ると山形から住み込み の手伝いが4人、みんな のご飯の支度、洗濯、 海苔の手伝い(海苔を 切る、乾すのが女の仕 事だった) で一年中家 事に追われていた。実 家に帰るのは年に一度、 母の命日に厳正寺に墓 参りし、その足ですぐ



左がきぬさん

近くの実家に寄り、弟の部屋で2、3時間ねかせても らうのが唯一の息抜きだった。忙しくて家の敷地か ら出ることはめったになかった。

#### \*\*\*その後\*\*\*

昭和38年、海苔が終わると御主人は銀行に勤め、 きぬさんもPTAなど外に出る機会も増え、そんな時、 詩吟と出会った。勧められて全国から集まる研修に 参加したのが御縁で各地の友人と詩吟を通じた行き 来が始まり世界が広がった。やがて海外旅行が一般 的になりハワイなどが人気だったが、きぬさんは詩

吟のふるさとである中国を訪ね、研鑽を積ん

今では、お弟子さんを教えるようになり、 充実した毎日を過ごしている。

#### \*\*\*お話を聞き終えて\*\*\*

今年の12月には82歳になるというきぬさん、 姿勢も美しく、声には張りがありお元気な様 子にびっくり。詩吟に出会って幸せだと お 話していました。海苔漁家のお嫁さんの苦労 話を聞かせて頂くと想像していましたが、き ぬさんの口から出ると苦労には聞こえません。

飾らない前向きな姿勢に感銘を受けました。 ご主人と末長くお幸せにお暮らしください。 元気をいただきありがとうございました。

(信田幸子)

伊藤きぬさんは、生まれも嫁ぎ先も海苔漁家で、 実家と嫁ぎ先は自転車で5分位の近くだった。かつ ては、結婚は本人の気持ちとは関係なく、また、大 森は海苔のまち親戚も海苔関係で大森から外に嫁ぐ ことは少なかった。実家に帰られたのは一年に一度、 母の命日だけだった。

嫁の仕事はまず跡取りの長男を産むことだった。 長女の時は何もしなかったおじいさんが、長男のと きはおぶったり、だっこししたりして大喜びした。

海苔生産の一年の仕事は冬だけではなく一年中忙しかった。少し暇ができるのは6月頃で、そのころ祝言をすることが多かった。昔は自宅で行い、魚屋から仕出し料理をとることも多かった。



海苔乾し場の 前で、仕事着 姿のご主人

冬になると、山形からシオトリ二人、ホシカエシ 二人が出稼ぎに来た。時にはもう一人増えることも あった。全部の食事の仕度におわれる。朝二時頃か ら海苔つけ作業、終わると朝食の用意をする。大体 がご飯、汁物、つけものくらい。そして男性は弁当 を持って海苔とりに行った。弁当の中身はかつお節 とのりで海苔巻きをつくる。

女性たちは日が出てきたら乾し枠をだし、海苔を 乾かす。乾いたら海苔をはがした。お風呂もお父さ

んや子どもが先で、きぬさんは後に 入る。出稼ぎの方たちは最後だった。 風呂はマキで焚き、ご飯をカマドで 炊くので、本当に忙しかった。

海苔とりの季節が終わると、男は網を編んだり修理したり、そしてヨシ刈り、ヨシを乾かす。八月頃になると乾くので女が葉をおとす。海苔簀編みは力がいるので男性がした。その合間に男性たちは旅行に出かけるが、きぬさんは家から出ることはなかった。

昭和38年の春、海苔養殖の仕事が終わった。ご主人は銀行に勤めるサラリーマンになり、きぬさんもPTAの関係で社交ダンスを習うなど自分の時間が持て持てるようになった。その後、詩吟と出会い、友達が日本



各地に広がり、海外も訪れた。今はお弟子さんも取るようになった。

海苔の時代は、朝暗いうちから海苔つけの仕事、 ご飯の仕度、昼間は海苔はがし、夜は縫物などで寝 る暇もなかったことを思うと、そうした時代が終わ り、自由な時代になったことはよかったと言ってい る。

きぬさんが嫁いだ時代は、近くでも実家に帰れた のは年に一回だった。いつでも自由に実家に帰られ るようになり、今はいい時代になりました。

(渡辺久江)

#### 伊藤きぬさんのお話を聞いて感想

話をお聞きして印象に残った事が2つありました。 1つは子供のころよく家業の手伝いをされたとの 事。喜んで手伝ったのではないかもしれませんが、 これはとても大切な経験だと思いました。

親が真剣に教えると子供に何か残りますね。

あと1つは真面目に日々の生活をこなしてきたか

らこそ今があるのではないで しょうか。

きぬさんのきさくなお話に何 か「余裕」を感じました。 とても有意義な楽しいひとと きでした。

(はまどの会:一文字昌子)



冬の陽を背に、舅と海苔はがし

#### 特定非営利活動法人 海苔の ふるさと会会報 「大森海苔の ふるさと館 ニュース」29号

平成24年10月1日発行 編集・発行 特定非営利活動法 人 海苔のふるさと会 連絡先 東京都大田区平和の 森公園2番2号 TEL 03-5471-0333 FAX 03-5471-0347  $(N_0.30)$ 平成25年(2013)1月1日



特定非営利活動法人

海苔のふるさと会

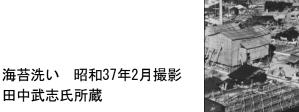
特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

# 大森 海苔のふるさと館 ニュース 30号



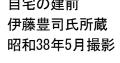
ガスタンクからの展望 田中一實氏 昭和30年2月撮影

田中武志氏所蔵





自宅の建前





(No.30) 平成25年(2013) 1月1日



# 昨年はこんなニュースがありました!

- 本年もよろしくお願い申し上げます -



### 3月 多数の海苔の道具が寄贈

NPO会員を始め地域の方々に海苔の道具の寄贈を呼び掛けたところ、多くの資料をご寄贈いただきました。道具は館の活動に活用させてい

ただいています。

\*「さわってみよう!昔の道具 コーナー」

\*「新収蔵品展 を開催 10月~



### 7月 大きな生き物水槽が登場

名板作製実行委員会から、幅90cmの大きな生き物水槽をご寄贈いただきました。大小の水槽で、浜辺の生き物の生態展示をしています。

- ・ウナギ
- ・マハゼ
- ・ウロハゼ
- ・コトヒキ
- ・シマイサキ
- ・ケフサイソ ガニなど

(ときどき入 れ替わります)



### 8月 子ども用リーフレット完成

子ども用のリーフレットを作成 し、配布しています。

海苔の作り方、ふるさと館の活用の仕方など分かりやすく解説しています。小学校の見学を始めとして、利用者の方々に広く活用していただいています。



### 一年中 テレビや新聞・雑誌で紹介

2月3日 テレビ東京「レディス4」

8月20日 NHK「梅ちゃん先生」撮影協力

9月15日 TOKYO FM「DOCOMO LOVE Family」

10月3日 J-WAVE「TOKYO Morning Radio」

11月 月刊『ソトコト』11月号

11月9日 NHK「首都圏ネットワーク」 11月14日 読売新聞 海苔つけ体験紹介

11月29日 NHKラジオ第一「ふるさとラジオ」

※これはほんの一部です。

# 9月 専門学校の実習スタート

東京バイオテクノロジー専門学校(大田区北糀谷)海洋科学コースの学生が、 当館で海洋に関する実習を行っています。 この他にも、東京海洋大学の実習、区 内中学校の職場体験、美原高校の奉仕体 験など、学生の実習の場を提供していま



# 特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報 「大森海苔のふるさと館 ニュース」30号

平成25年1月1日発行

編集・発行 特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 連絡先 東京都大田区平和の森公園2番2号

TEL 03-5471-0333 FAX 03-5471-0347

(No.31) 平成25年(2013)3月1日



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

# 大森 海苔のふるさと館ニュース 31号

### 小学校の海苔つけ体験授業



かつて海苔生産が行われていた地域では、海苔つけの体験授業をしている学校があります。その中から、10年以上活動を続けている大森の4校を紹介します。



それぞれの地元の元生産者が、道具の準備や海苔の用意をし、当日も熱心に指導してくれます。地域と学校の強い信頼関係が、子どもたちのいきた学びを長く支えています。

#### ●大森第一小学校●

開校138周年、大森地区で最も歴史があり、海苔 生産と共に歩んできた学校です。大正時代は、海苔 漁家の子どものために早朝授業の朝学を行っていま した。

海苔つけは、3年から6年まで300人以上の児童が体験する一大イベントです。10名以上の元生産者が、朝学の歌を歌い、体験の指導をしてくれます。

校舎入口の海苔資料室には、博物館顔負けの道具 が揃っていて、児童が実物を見て学べる環境が整っ ています。

#### ●大森第四小学校●

大森第一小学校から学区が分かれた学校で、来年 開校80周年を迎えます。旧呑川の下流に位置し、海 苔生産が栄えた地域です。

体験授業は約15年前から行っています。かつて実際に使っていた、先祖代々の思いのこもった道具を使っています。また、海苔簀は昔と同じヨシでできた海苔簀です。

昔のままのボータを着て指導してくれる方もいて、 雰囲気の伝わる体験授業です。



#### ●中富小学校●

大森第四小学校から学区が分かれ、開校61周年を 迎えました。

体験授業を始めたたのは4校の中で最も早く、今

年で22年目です。毎年、全校児童が体験するので、 上級生は慣れた手つきでできます。上級生が下級生 の面倒を見るので、上級生は自覚が育っているよう です。また、近隣の幼稚園・保育園も参加し、地域 の方々にも参加を呼び掛けるなど、小人数の特性を 活かした活動となっています。

また、校内に海苔資料室があり、児童の学習と体験の両方に活かされています。



#### ●大森東小学校●

工場の撤退に伴う新たな町づくりとして開校し、 今年開校31周年を迎えました。

かつては、海苔生産者と貝漁師が多く住む地域で、周辺の内川と都堀は漁船やベカブネの河岸でした。

以前は他から道具を借りていましたが、最近、新たに道具を揃え、自前の道具で体験できるようになりました。元生産者が、当時の船の幟旗をあげ、ボータ姿で指導してくれるので、雰囲気も満点です。

(麻)



ふるさと館では、学校で行う海苔 つけ体験にあわせて海苔網を持参 し、学習に活かしていただいています。

また、毎月2校程度、ふるさと館で体験授業の受け入れをしています。学校へ海苔つけ台などの道具の貸し出もしています。いずれも、体験は冬期期間のみで、4月から 先着で新年度の体験を受付けます。 (№31) 平成25年(2013)3月1日

#### 平成24年度

### アサクサノリ生育観察事業をふりかえって

6年目となった今年度の事業の一番の成果は、昨年度、一昨年度に引き続き竹ヒビに付いた多くの "アサクサノリ"を確認できたことです。

竹ヒビを建てるために夏から事前準備を行いました。それは竹ヒビの材料となる竹本来の持つ油分を取り除き、海苔の付きを良くするためのアク抜き作業です。この作業は大森ふるさとの浜辺公園内の浜辺エリアから竹ヒビを海中に沈めておきます。約一ヶ月後、竹ヒビを海中から取り出しヌタと呼ばれる竹に付着したドロや汚れを海水で洗い流します。その後、竹ヒビをつくるヒビごさえ作業を行ないました。

さらに「大森 海苔のふるさと館」では昨年に引き続き、海苔の種である胞子を作る糸状体をカキガラで培養する作業にも挑戦しました。海から汲んで来たそのままの海水には多くの塩素成分や他の藻類、菌類等も含まれているため、朝晩、欠かさず水槽内の海水温度の管理を行い、塩素成分や他の藻類、菌類を限りなく除去するための海水づくりにも取り組みました。糸状体を培養することの難しさを学びました。



の様子昔ながらの竹ヒビ建て作業

秋には、生産当時、竹ヒビを建てる為に使っていた振り棒と呼ばれる道具を実際に使い、浜辺近くの海に竹ヒビを建て、その枝にカキガラの入った袋を結び、海底に沈める海苔の種付け作業も行ないました。今年は大田区北糀谷にある東京バイオテクノロジー専門学校の学生と先生が見学し、浜辺で振り棒の体験も行ないました。むかしの海苔養殖作業を間



サクサノリの観察を行う。い海で竹ヒビについたアウェダーに着替え、冷た

→海苔網に付着した アサクサノリ



←竹ヒビに付着した アサクサノリ

近で見て、体験できる大変貴重な機会となりました。 その二ヶ月後、浜辺に建てている竹ヒビに海苔が 生長していることを確認しました。これは昨年、一 昨年に引き続き三度目の大きな成果です。大森 海 苔のふるさと館の1階体験学習室の水槽では多くの みなさんがアサクサノリを間近で観察できるように 12月中まで展示しました。

一方、海苔網での生育状況は昨年、一昨年と海苔が採れなかった原因のひとつと思われている海面近くの塩分濃度の薄さを考慮し、塩分の濃い層まで少し下げて海苔網を張りました。すると海苔が生育することが確認でき、収穫に至りました。ただ残念なことに、初年度のような良好な生育が見られませんでした。

実行委員会のメンバーの多くはむかし、実際に活躍していた元海苔生産者です。半世紀も経とうとしている今日に、元海苔生産者の作業の一つひとつを目の当たりにできることは大変喜ばしい限りです。

是非、「大森 海苔のふるさと館」を情報発信の 場として活用し、もっと多くの方々に海苔や海の環 境について広く知っていただければと考えています。

(髙橋)



観察時に砂浜に近寄って来たアカエイ

#### 特定非営利活動法人 海苔の ふるさと会会報 「大森海苔の ふるさと館 ニュース」31号

平成25年3月1日発行 編集・発行 特定非営利活動法 人 海苔のふるさと会 連絡先 東京都大田区平和の 森公園2番2号

TEL 03-5471-0333 FAX 03-5471-0347